

## 高齢者虐待防止介護従事者研修用映像

「～よりよい介護を目指して～」の使用について

### ① 映像の使用についてのお願い

高齢者虐待の前段階として、「不適切なケア」が存在します。この「不適切ケア」の段階で改善に繋げていく働きかけを行うことが、虐待防止に繋がります。施設・事業所で職員個人のみで虐待防止への対応を行っていても、改善につながらない、防止できないことが多々あります。施設・事業所の職員全体で関わるのが重要です。

この研修用映像は、主にグループワークを実施することを目的として制作しています。

この映像内容についての正誤を含む説明書を付けていないのは、回答が利用者の状態や必要性により一つではない場合が想定されるからです。職場の上司、同僚間で話し合い、回答やより良い対応を皆で検討する作業を行ってください。よりよい介護を目指して、施設・事業所一体で取り組んでいただけることを願っています。

### ② 留意していただきたいこと

- 勤務年数や資格の有無等に関係なく、意見を出し合ってください。
- 意見を言う際には、理由も添えて発言してください。
- 自分と違う意見が出ても、否定するのではなく、なぜ違うと思うのかという理由等を確認し、相互に相手の意見を受け入れて、十分に話し合ってください。
- 自由に意見交換ができる雰囲気を作ってください。

### グループワークの進め方（参考例）

- 入所者⇔介護職員の関係で不適切な事例は、どの事例か。
  - ・ なぜ、不適切なのか。
  - ・ その不適切な事例を継続することが、入所者にどのような問題や影響が起こるのか。
  - ・ 不適切な内容をどのように改善すればよいのか。
  - ・ ご自分の施設、事業所の入所者や利用者等の場合はどうするか。具体的な事例で考えてください。
- 介護職員⇔介護職員の関係で、不適切な事例は、どの事例か。
  - ・ なぜ、不適切なのか。
  - ・ その不適切な事例を継続することで、どのような問題がおこるのか。
  - ・ 不適切な状況をどのように改善すればよいのか。
  - ・ ご自分の施設・事業所の職員間の関係や職場風土に照らし合わせて、不適切なこと、改善すべきことはないか。
- 入所者・利用者に対してイラッとした時の対応について。
  - ・ 入所者・利用者に対して職員がイラッとした場面は。なぜ、イラッとしたのか。どの

ように対処したらよいのか。周囲の職員はどのように対処すればいいのか。

- あなたが、入所者・利用者に対して否定的な感情を持つときは、どんな時か。どのように対処すべきか。周囲の職員はどのように対処すべきか。
- 対応が困難な入所者・利用者への対応について
- 対応が難しいと思う入所者はいたか。なぜ、そのように思ったか。
- どのように対応することが、適切だと思うか。職員間でどのような連携が必要と思うか。

### ③ 映像のダウンロード、貸し出しについて

- 神戸市ウェブサイトおよびY o u T u b eにアップされた映像の著作権は神戸市にあるため、ダウンロードは自由にしていただいて結構です。
- DVDの貸し出しは、神戸市社会福祉協議会社協福祉ライブラリー（電話 271-5307）及び介護指導課において行っています。
- その他貸し出しについて、不明な点は介護指導課までお問い合わせください。

担 当

神戸市保健福祉局高齢福祉部介護指導課指導係

電話 078 (322) 6326

F A X 078 (322) 6762